様式第２号（第３条関係）

審　議　会　会　議　録

<table>
<tr><td>会 議 名 称</td><td colspan="3">令和７年度　第１回伊達市社会教育委員会議</td></tr>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="3">◎議長・副議長の選任
◎令和７年度教育行政執行方針について
◎令和６年度社会教育事業実績報告について
◎令和７年度社会教育事業計画について</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="3">令和７年７月 16 日（水）18 時 30 分から 19 時 10 分まで</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">伊達市役所第２庁舎２階　第１会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td colspan="3">社会教育委員８名、教育委員会職員 11 名：出席者計 19 名
※欠席委員３名</td></tr>
<tr><td>所管部課名</td><td colspan="2">教育部生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開非公開の別</td><td>■ 公　開</td><td>傍聴者の人数</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>□ 非公開</td><td>非公開の理由</td><td>―</td></tr>
</table>

【会議概要】

１．開　会（事務局：生涯学習課長）

２．委嘱状交付

３．開会あいさつ（伊達市教育委員会教育長）

４．議事

（１）議長・副議長の選任

議長に小林委員、副会長に伊藤成子委員を選任

【以降、議長による議事進行】

（２）報告第１号　令和７年度教育行政執行方針について

（３）報告第２号　令和６年度社会教育事業実績報告について

（４）報告第３号　令和７年度社会教育事業計画について

資料に基づき事務局から説明

【質疑】

□委員

予定しているカルチャーセンターの改修について概要を説明いただきたい。

◆事務局
　大ホールの舞台照明及び大ホールと講堂の客席照明のLED化改修工事を予定。
　大ホールの舞台照明については７年度と８年度の２年に分けて行う。
■議長
　施設が建ってどれくらいになるか。
◆事務局
　平成６年に建築している。

□委員
　体育館の一般開放については様々な団体が利用しているが、学芸発表会などの学校行事がある時期については飾り付けなどの関係から利用できないことがある。使えない時期は他の体育館が各団体で取り合いになるような状況もあるので、半面だけでも利用できるようにするなどしていただけるとありがたい。
◆事務局
　事務局から要望があったことを学校側に伝えることとする。

□委員
　執行方針の中で不登校に関する記述があるが、フェニックスは前の場所から移転したのか。
◆事務局
　施設の老朽化などもあり、活動場所を移転している。

５．意見交換・その他
■議長
　事業計画にも記載しているとおり、社会教育委員を対象とした研修会などが開催されているので、委員の皆さんにも参加のご協力をお願いしたい。

６．閉　会

令和７年度
第１回伊達市社会教育委員会議

日時　令和７年７月１６日（水）午後６時３０分から

会場　伊達市役所第２庁舎　第１会議室

伊 達 市 教 育 委 員 会

会　議　次　第

１．開　　会　　伊達市教育委員会　　生涯学習課長　　上　山　昭　二

２．委嘱状交付　　机上配付といたします。

３．開会あいさつ　　伊達市教育委員会　　教育長　　堀　籠　康　行

４．議事

（１）議案第１号　　議長・副議長の選任

議　長　　副議長

（２）報告第１号　　令和７年度教育行政執行方針について・・・・・・・・・〔資料１〕

（３）報告第２号　　令和６年度社会教育事業実績報告について・・・・・・・〔資料２〕

（４）報告第３号　　令和７年度社会教育事業計画について・・・・・・・・・〔資料３〕

５．意見交換・その他

６．閉　　会

【参加者名簿】

〔社会教育委員〕　　※５０音順

氏　　名	就任年月日	備　　考
安孫子　孝　次	令和 元 年　５月　１日	伊達メセナ協会　事務局長
伊　藤　光　輝	令和 ５ 年　５月　１日	伊達青年会議所　副理事長
伊　藤　成　子	平成１９年　５月　１日	つどいサークル「ドロップ」　代表
小　谷　洋　史	平成１９年　５月　１日	伊達 favoriteCLUB　顧問
小　林　浩　路	平成２７年　５月　１日	元教育部指導室　指導員
佐　藤　　誠	平成２８年　６月　１日	伊達市文化協会　事務局長
神　　洋　平	平成３０年　５月２４日	伊達シニアクラブスポーツ少年団　指導者
鳴　海　摩里子	令和 元 年　５月　１日	伊達市スポーツ推進委員
花　田　啓　光	令和 ７ 年　５月　１日	伊達市校長会 会長
藤　村　　学	令和 ５ 年　５月　１日	北海道伊達開来高等学校　校長
三　好　和　美	令和 ７ 年　５月　１日	伊達市 PTA 連合会 会長

〔伊達市教育委員会〕

所　　属	氏　　名	所　　属	氏　　名
教育長	堀　籠　康　行	青少年・スポーツ係長	坂　元　賢　一
教育部長	山　根　一　志	青少年・スポーツ係主査	菊　地　祐　二
生涯学習課長	上　山　昭　二	文化財係長	永　谷　幸　人
図書館長	阿　部　　博	文化財係主査	黒　田　格　男
図書館業務係長	橋　本　拓　和	社会教育係長	石　上　友　紀
		社会教育係主任	山　本　　遼

○伊達市社会教育委員に関する条例

平成12年３月29日
条例第23号

伊達市社会教育委員の定数及び任期に関する条例（昭和24年条例第26号）の全部を改正する。

（設置）

第１条　社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第15条の規定に基づき、伊達市に社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

（定数）

第２条　委員の定数は、12人以内とする。

２　委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、伊達市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

（任期）

第３条　委員の任期は２年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（解嘱）

第４条　教育委員会は、特別の事情があると認めたときは、委員の任期中であってもこれを解嘱することができる。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、平成12年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例施行の際、現に改正前の伊達市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の規定により委嘱を受けていた委員の任期は、平成13年４月30日までとする。

附　則（平成26年３月20日条例第10号）

この条例は、平成26年４月１日から施行する。

○伊達市社会教育委員会議規則

平成15年６月27日教育委員会
規則第４号

（目的）

第１条　この規則は、伊達市社会教育委員（以下「委員」という。）の会議について必要な事項を定めるものとする。

（議長及び副議長）

第２条　委員の会議（以下「会議」という。）に、委員の互選により議長及び副議長を各１名を置く。

２　議長及び副議長の任期は、委員の在任期間とする。

３　議長は、会議を代表し、議事その他会議の事務を総理する。

４　副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第３条　会議は、教育長が招集する。ただし、在任委員の３分１以上の者から会議の招集の請求があったときは、教育長は、これを招集しなければならない。

２　会議は、在任委員の過半数が出席したときに成立し、議事はその過半数により決する。可否同数のときは、議長が決するところによる。

（庶務）

第４条　会議の庶務は、教育部生涯学習課において処理する。

（その他）

第５条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成20年12月25日教委規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成27年３月26日教委規則第８号）

この規則は、平成27年４月１日から施行する。

令　和　７　年　度

教 育 行 政 執 行 方 針

北 海 道 伊 達 市 教 育 委 員 会

目　　次

１　はじめに　１～３

２　教育行政に臨む基本姿勢　４～８

３　推進項目　９～24

（１）　学校教育　９～16

（２）　社会教育　17～19

（３）　歴史・文化芸術　20～22

（４）　スポーツ　23～24

４　むすび　25

１　はじめに

令和７年第１回伊達市議会定例会の開会に当たり、教育行政の執行に関する主要な方針につきまして申し上げます。

我が国は、予測を超えて進む少子高齢化による人口減少や地域社会の縮小、パンデミック、相次ぐ自然災害、更には、生成ＡＩの登場による急速なデジタル技術の進展等、大きな時代の変化に直面しております。このような大変革期の中、我々を取り巻く社会環境の複雑性が増し、次々と想定外の出来事が起こるなど、将来予測が困難な状況となっております。

この状況に立ち向かうには、これまでの価値観や知識だけでは対応できないことを前提に未来を創造できる人材の育成が求められております。そのために、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を融合させたシステムによって経済発展と社会的課題の解決を両立する「Ｓｏｃｉｅｔｙ5．０（超スマート社会)」が、目指すべき社会の姿とされているところです。

そこで、本市におきましては、Ｓｏｃｉｅｔｙ5．0を生き抜くために必要な人材の育成が急務であるとし、そのための学びの実現を重視して参ります。しかし、超スマート社会となっても、リアルな人間の営みによって、社会や学校が形作られていくことを忘れてはなりません。「人間は互いに関係しあって生きている」という心理学の考え方があるように、今、「デジタル」を道具として使いこなしながら他者と協力して社会を生き抜く人材の育成が求められているところです。

このことから、学校教育におきましては、「教育ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション)」の推進と並行して、「デジタルの力でリアル

な学びを支える」という視座を持ち、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に発展させ、「主体的・対話的で深い学び」の充実・改善に向け、一層の授業改革を進めて参ります。

併せて、本市の学校教育の更なる進展のために、児童生徒と教職員の双方にとって、より良い教育環境や特色ある教育活動も重要であることから、学校と教育委員会が関係機関、団体等との連携はもとより、大学等の高等教育機関との連携も強化して参ります。

また、市内の市立及び道立学校が「「ふるさと創生教育『だて学』」コンセプト・フロー」に基づき、発達段階に応じた学校種ごとの目標達成を目指し、地域や関係機関、団体等と組織的・計画的に緊密な連携を図る必要があります。このような取組は、世界文化遺産「北黄金貝塚」やアイヌ文化、亘理伊達家移住による武家文化が連なり融合したという本市の稀有な歴史文化の基盤を活かした、先人の叡智から学ぶ教育環境の構築につながります。更に、地元愛に根差した地域創生の原動力となる「伊達プライド」を持った「伊達人（だてびと）」の育成、つまり、地域の未来を担う人材の育成にもつながると考えております。

社会教育におきましては、「人生１００年時代」に対応するための「社会人基礎力」が求められており、この基礎力を伸ばすために、リカレント教育やリスキリングの重要性が増しております。各種講座や事業を通じて、急速な経済・社会環境の変化に対応するためのスキルアップやキャリア形成だけでなく、人生を豊かにするために生涯にわたり学び続けようという機運が醸成されるよう努めて参ります。

また、北海道伊達開来高等学校の特色化・魅力化への支援、北海道伊達高等養護学校の本市と連携した教育活動への支援、そして、これら道立学校と市立学校との系統性を持った教育の実施により、本市教育の一層の充実・改善を図って参ります。「だて学」をはじめ、教科指導や様

々な教育活動等を通して、市内のすべての学校が「Ｔｅａｍ　Ａｌｌ　ＤＡＴＥ　Ｓｃｈｏｏｌｓ」をスローガンに、一体的に教育活動を展開することは極めて重要です。これにより、本市教育の質の向上が図られるだけでなく、子どもたちが将来、本市教育を「だての学び」として心に留め、その成果を体現し、次世代に継承・発展させることができるようになると考えております。

伊達市教育委員会といたしましては、「第２次伊達市教育振興基本計画」に基づき、各種教育施策の取組を進めるとともに、学校教育と社会教育の連携を図り、本市教育の基本理念に掲げる人材育成と社会の実現を目指して参ります。

２　教育行政に臨む基本姿勢

ここで、今後の教育行政に臨む基本姿勢につきまして申し上げます。

教育を取り巻く現状と課題を踏まえ、本市の教育理念「自立・協働・創造」の目指すべき方向性について、「自立」は「夢を志に高め、たくましくしなやかに、生涯を通じて挑戦し続ける人の育成」、「協働」は「共に学び育ちあう絆を強くし、地域が人を育み、人が地域を創る社会の実現」、「創造」は「郷土の歴史と文化を継承・発展させ、新しい価値観を創出する人の育成」とした意義を再確認し、教育活動の更なる充実・発展を図らなければならないと考えております。

以上のことを基本姿勢として、自らが伊達市の将来を創り出していくという主体性を持った人づくり、郷土の歴史や文化を誇りに思い、生涯にわたり生きがいを持って活躍できる学びづくりのため、

学校教育におきましては、

「社会を生き抜く力を育む教育の推進」として、「『だて学』コンセプト・フロー」に基づいた、各校の「『だて学』全体計画」策定を通して、各校における「だて学」の充実・改善を行うことが重要であると考えております。「『だて学』担当者連携会議」や研修会を通じて、市内のすべての学校が「だて学」の目標等達成に向けて、ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育目標）の理念を取り入れ、より実効性のある教育内容の再構築を行って参ります。また、「だて学」の学びは、教科横断的な学習でもあることから、学力向上や授業改革を支える基盤となるよう、教科の学習内容と関連付けながら進めるとともに、他の地域や大学等の高等教育機関と連携するなどして、児童生徒の視野を広げ、その学びの充実を図って参ります。

更に、「『こどもファースト』で学校・学年・学級経営を」と「『児童生徒を笑顔で帰宅』を教員の１日の目標に」を“学校経営の肝”としてスローガンに掲げ、本市学校教育の改善を進めて参ります。子どもを尊重した教育活動を行うことは、子ども同士が互いの違いを認め尊重し合える校風を醸成し、学校教育に対する信頼の基盤となります。学ぶ喜びが感じられる授業、仲間と仲良くできる学校生活、これらを児童生徒に感じてもらえる教育活動を登校から下校まで確実に行うためには、教職員が一丸となって取り組む必要があります。この土台があってこそ、誰一人取り残さない学びの保障があり、真の学力向上があると考えております。

このような学校体制を支える一助として、「児童生徒の心身健康チェックシート『ＫＯＫＯＫＡＲＡ』」を活用して参ります。これは学校と教育委員会が共同で開発したデジタルツールで、児童生徒が１人１台端末を活用し、日々の体調、不安や悩み等を教員に伝えやすくするためのものです。このツールの活用等により、児童生徒が安心して学習に集中し楽しく学校生活を送ることができるよう、迅速できめ細かな対応に努めて参ります。

また、「ＧＩＧＡ」から「ＮＥＸＴ　ＧＩＧＡ」へと進展するデジタル化の流れの中で、生成ＡＩの活用を含め、教育活動や校務のＤＸを推進することは、学校の働き方改革に寄与するだけでなく、児童生徒がデジタル社会を生き抜く力を養うための重要なステップとなります。

「豊かな心を育む教育の推進」として、多様性を尊重する心を育む教育活動を推進して参ります。これにより、異なる背景や価値観を持つ人々との共生を学ぶ機会を提供し、寛容で理解ある社会の形成に寄与すると考えております。

体力向上、食育及び健康教育を目的とした「健やかな体を育む教育の推進」は、子どもたちが心身ともに健やかに成長するための基盤を築くものであり、将来の健全な生活習慣の確立につながる非常に重要な取組

です。このため、学校と家庭との連携を一層強めることが求められております。

「地域とともにある学校づくりの推進」として、「だて学」を通して、社会に開かれた教育課程の編成を進め、地域や関係機関、団体等との連携を強化して参ります。更に、各校の学校運営協議会において地域住民や保護者が主体的に学校運営に参画することで、学校と地域が一体となって子どもたちを育む地域総がかりの教育を推進して参ります。これにより、子どもたちの地域貢献や社会参画意識の醸成を図り、学校と地域の活性化を目指して参ります。

「信頼される教育環境の整備」として、児童生徒の生命と身体を守り、豊かな学びを保障するために、学校の施設・設備の改修や適切な維持管理を行い、安全・安心な教育環境の確保に努めて参ります。

また、スクールガードリーダーや地域住民の見守り活動団体と連携し、登下校の安全対策を推進して参ります。

社会教育におきましては、

「ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進」として、次代を担う青少年が様々な体験や幅広い世代との交流を通して創造性や協調性等を身に付け、夢や目標を持って健やかに成長できるよう、市民団体と協力し青少年教育事業の充実を図って参ります。また、「だて学」を通して、地元愛に根差した地域創生の原動力となる「伊達プライド」を持った「伊達人（だてびと）」を育成し、青少年の新たな価値を生み出す資質・能力を育んで参ります。

「共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進」として、市民カレッジや市民講座、長生大学等において「オトナのだて学」と冠した講座等の充実に取り組んで参ります。

「放課後児童クラブ」につきましては、学校との連携を図りながら、児童や保護者にとってより良い放課後等の居場所、学習や交流の場とな

るよう事業の充実・改善を進めて参ります。

図書館につきましては、図書館運営協力会と連携し、現図書館の業務の充実・改善を行うほか、新図書館の完成に向けた準備業務を推進して参ります。中でも、デジタル化推進の一環として、ＩＣタグシステムの導入準備を進めているほか、北海道立図書館等との連携を通して電子図書等の電子コンテンツの活用を推進し、市民サービスの向上に努めて参ります。更に、利用者層の拡大を視野に入れ、開館日数の増や開館時間の延長の検討等、新図書館における運営体制の構築を進めて参ります。

また、「伊達市立図書館運営基本方針」に基づき、居心地の良い魅力ある図書館を実現するため、新図書館への移行に先駆けて、市民の生涯学習活動、リカレント教育やリスキリングを支援する図書館環境の充実を図って参ります。

歴史・文化芸術におきましては、

「特色ある地域文化の推進」として、カルチャーセンターの市民の文化芸術活動や生涯学習の拠点としての役割を果たすため、「カルチャーセンター長寿命化計画」に基づいて、老朽化が進む建物や設備の改修を進めて参ります。また、施設の指定管理者、関係団体等との連携を強化し、運営の充実を図り、市民の文化芸術振興の持続的発展を目指して参ります。

「歴史文化を活かしたまちづくりの推進」として、世界文化遺産である北黄金貝塚につきましては、文化遺産としての価値を周知するだけでなく、教育資産としての活用を推進するための取組を進めて参ります。また、北黄金貝塚情報センターの冬期休館中には、だて歴史文化ミュージアムを活用して、世界文化遺産の構成資産としてのガイダンス機能を通年で確保し、その価値の周知に努めて参ります。更に、洞爺湖町の入江・高砂貝塚とも連携し、世界遺産の魅力を発信する「ルート37の世界遺産ＪＯＭＯＮ」の取組を充実させて参ります。

だて歴史文化ミュージアムにつきましては、地域の特色ある歴史文化を俯瞰的に理解できる施設として、展示内容を工夫して参ります。また、北黄金貝塚や有珠善光寺、旧伊達邸庭園をはじめとする歴史文化遺産と地域に点在する「まちなかの歴史文化」をつなぐプラットフォームとして、情報発信を強化して参ります。更に、市内の学校や周辺観光施設、施設の指定管理者と連携し、「学究の場」と「集い学び合える場」としての役割を果たすことを目指して参ります。

スポーツにおきましては、

「豊かな心身を育むスポーツの振興」として、市民が総合体育館をはじめとしたスポーツ施設を有効に活用できるよう、施設の指定管理者が実施する自主事業を通じて、市民への運動機会の提供とその充実を図って参ります。また、利用者アンケートの評価等を基に、施設管理・運営の充実・改善に努め、関係団体と連携を図りながら、より多くの市民がスポーツを通して健康で充実した生活を送ることができるよう支援して参ります。

また、中学校部活動の地域移行につきましては、文化部も含めた中学校部活動と伊達スポーツクラブ“藍”による地域展開活動のハイブリッド化により、生徒の活動機会の拡充を図って参ります。この事業は、生徒に多様な運動の場を提供し、地域と学校が一体となってスポーツの振興や、学校の働き方改革の推進を図るとともに、生徒がより多くの経験を積み、心身ともに健やかに成長することを期待するものです。しかし一方で、地域指導者の継続的確保や経費等の課題がありますが、これまで地域、関係団体、学校と共に構築して参りました協力体制のもと、生徒、保護者、教職員、地域指導者との連携を密にし、より良い活動となるよう取り組んで参ります。

以上を基本姿勢として、教育行政を執行して参ります。

３　推進項目

それでは、令和７年度の推進項目と主要な施策につきまして申し上げます。

（１）　学校教育

第一は、学校教育についてであります。

社会を生き抜く力を育む教育の推進

「人生１００年時代」と言われる現代社会において、児童生徒一人ひとりが自身の将来やキャリアについて考え、自己実現を目指すことは極めて重要です。このため、第２次伊達市教育振興基本計画の基本理念の「自立」にある「夢を志に高め、たくましくしなやかに、生涯を通じて挑戦し続ける人の育成」を目指して参ります。この理念の実現に向け、地元愛に根差した地域創生の原動力となる「伊達プライド」を醸成し、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための基礎的な力である「社会人基礎力」を育むことが必要と考えております。具体的には、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の３つの能力を育む教育活動を推進し、児童生徒が自らの将来を見据え、社会を生き抜く力を身に付けることができるよう、教育活動の充実を図って参ります。

また、持続可能な社会の実現に向けて、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の理念を踏まえた教育活動を推進して参ります。特に、その根本にある、ＥＳＤの理念に基づき、子どもたちが現代社会の様々な問題を自らの問題として主体的に捉えるとともに、地球規模の視野で考え、地域等の身近な視点で行動できるグローカルな資質・能力を育むことが重要とされております。このためグローカルな視点を持ちながら、子どもた

ちがチームで課題を発見し解決する学習を推進して参ります。そのために、地域の将来を担う人材の育成にもつながる「だて学」の学習活動が鍵となります。「『だて学』コンセプト・フロー」に基づいた各校の「『だて学』全体計画」を策定し、教科の学習内容と関連付けながら、各校における「だて学」の充実・改善を進める必要があります。

今後も不確かで予測困難な時代が続くと予想される中、児童生徒の学びを止めることなく、基礎・基本の徹底を目指して参ります。「全国学力・学習状況調査」や「伊達市学力テスト」等を分析し、各校の課題を明確にした改善プランを立て、学力の向上に努めるとともに、英語検定や漢字検定等の資格取得の支援を行うなどして、児童生徒が自らの将来に向けてチャレンジできる環境を提供して参ります。

夏季期間中の教育活動につきましては、教育委員会で作成した教育活動等におけるガイドライン「夏季期間中の教育活動等における子どもたちの健康を守る対策について」に基づき、暑さ指数を用いた活動の徹底を図って参ります。近年の猛暑により長期休業期間が拡大している状況を鑑み、学校で学ぶべき標準時数の確保が重要課題となっております。このため、保護者や地域社会への影響を考慮しつつ、確実な時数確保に向けた課題の検証を実施して参ります。

「ＧＩＧＡスクール構想」により導入されたＩＣＴ機器や高速大容量の通信ネットワークを活用し、オンライン学習を推進して参ります。これに加え、対面授業の利点を活かしながら、オンラインを組み合わせたハイブリッド型授業の工夫・改善を進めて参ります。また、教職員のＩＣＴ機器の利活用推進や教育活動における生成ＡＩの活用に向けた研修会を実施し、教育の質を向上させる取組も進めて参ります。

更に、児童生徒一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題する

ＡＩドリルの活用を推奨し、家庭学習や授業での利用を促進することで、主体的に学ぶことができる環境を整えて参ります。これにより、児童生徒が自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組むことで、資質・能力が育成されるよう努めて参ります。

加えて、児童生徒の心や体調の変化を把握し、いじめや不登校といった児童生徒が発するＳＯＳの早期発見・早期支援につなげるために、１人１台端末を活用した「児童生徒の心身健康チェックシート『ＫＯＫＯＫＡＲＡ』」を開発・導入しており、これを活用するなどして、児童生徒が声を発しやすい環境の整備に努めて参ります。

特別支援教育につきましては、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の場を提供し、自立や社会参加に向けた教育を進めることが重要視されております。具体的には、伊達高等養護学校や児童心理治療施設、医療、福祉、保健等の関係機関のほか、保護者と連携し、個別の教育支援計画に基づいた指導の工夫・改善を行うことにより、長期的な視点での教育的支援を目指して参ります。

また、小中義務教育学校においては、特別支援教育支援員や介護員を障がいの程度に応じて適切に配置し、特別支援教育に関する研修機会を充実させることで、児童生徒個々の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行って参ります。

いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こりうるとの認識のもと、学校、家庭、地域が連携し、児童生徒が主体となる取組を通して、いじめに対する意識を高めるとともに、いじめをしない、見逃さない、許さない指導を行って参ります。

特に、ＳＮＳ等によるネットトラブルがいじめの一因となっていることを踏まえ、家庭と連携した情報モラルの指導を継続して参ります。また、「伊達市こどもＬＩＮＥ相談」を活用した相談体制の充実を図り、

いじめ問題に対する包括的な支援を推進し、児童生徒が安心して学べる環境を整備して参ります。

国際理解教育の推進につきましては、外国語学習の特質を踏まえ、児童生徒が外国語に多く触れ、実際のコミュニケーションに基づいて学習を進め、自国と他国の文化の違いや多様性についての理解を深めることが重要とされております。ＡＬＴ（外国語指導助手）を学校へ派遣するなどして外国語教育の充実・改善を進めるとともに、外国語を用いた対話や外国の文化・習慣に触れる機会を充実させて参ります。また、子どもたちが主体的に外国の文化や言語に触れられる機会として、「だてっ子イングリッシュ・アドベンチャー」を実施し、実践的なコミュニケーション能力やチャレンジ精神を身に付けられるよう取り組んで参ります。

安全・防災教育の充実につきましては、児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付け、自ら適切に行動できるようにすることを目指しております。具体的には、地域と連携して実践的な避難訓練等を実施し、防災意識の向上を図って参ります。有珠山噴火のように前兆が観測できる災害だけでなく、予測困難な災害に対する備えが重要視されており、児童生徒が災害時に自らの安全を確保するための知識と行動力を身に付けられる教育活動を推進して参ります。

豊かな心を育む教育の推進

子どもたちが将来、自立した人間として主体的に判断し、他者とより良く生きていくために、その基盤となる道徳性を養うことが重要です。学校教育全体を通して、道徳教育と人権教育との関連付けを図り、児童生徒が互いの違いや良さ、ジェンダーの多様性を学び、認め、理解し合うことで、自分と同じように他者を尊重できる態度を養う教育活動を推

進して参ります。

更に、児童生徒の人間関係の構築や社会で生き抜く力、表現力や共感力を向上させ、いじめの未然防止につなげるために、年度当初に、プロの指導者によるコミュニケーション力を高めるワークショップを中学校で実施しております。このワークショップにおいて、児童生徒が他者との関わり方を学び、協働作業による達成感を味わうことで、社会生活に必要なスキルを身に付けられる一助となるよう取り組んで参ります。

不登校対策につきましては、学校を中心として個々の児童生徒に即した支援策を策定し、組織的・計画的に支援を行うことが重要です。各校で作成した支援策を基に、学校と教育委員会が連携し、スクールソーシャルワーカーや不登校児童生徒サポートハウス「こどもの国フェニックス」を活用した取組を充実させて参ります。併せて、使用施設の老朽化に伴うフェニックスの市内中心部への移転により、利用する児童生徒と保護者の利便性が増すと考えております。

また、個々の児童生徒に応じたアプローチを検討し、社会的自立や学校復帰に向けた支援に取り組んで参ります。

健やかな体を育む教育の推進

体力向上につきましては、市内共通の取組として縄跳び運動を推進しております。更に、日常の授業の成果や課題に加えて、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」や「伊達市体力テスト」の結果等を基にした体力向上プランを作成し、学校全体で継続して児童生徒の体力向上に取り組んで参ります。

また、地域や家庭には、体力向上や、継続的な運動の必要性について啓発を行い、子どもたちの健全な心身の育成に努めて参ります。

食育・健康教育につきましては、学校が関係機関と連携しながら組織

的・計画的に指導を行うことが重要です。児童生徒の望ましい食習慣の定着を図るため、栄養教諭が配置されていない学校に対する派遣事業を継続し、食育センターを有効に活用しながら、家庭科、体育科、保健体育科の学習や給食の時間等を通じて食育の取組の充実を図って参ります。これにより、児童生徒が健康的な食習慣を身に付け、心身の健康を増進することを目指して参ります。

学校給食につきましては、近年発生している食材が起因となる窒息事故を防止するため、継続的な食事のマナー指導を行って参ります。また、学校給食費保護者負担支援事業を継続することで、子育て世帯の負担軽減を図って参ります。

更に、だて歴史の杜食育センターの運営法人が実施する自主事業に関しては、市民の健康増進等を目的とした取組を充実させるため、関係団体等との連携を強化するよう働きかけて参ります。

がん教育の充実につきましては、がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見等について関心を持ち、正しい知識を身に付けるため、体育科、保健体育科の授業や外部講師による「出前授業」を活用し、取組を進めて参ります。

地域とともにある学校づくりの推進

コミュニティ・スクールにつきましては、各校の学校運営協議会で学校経営方針や教育活動等について熟議を行い、地域住民や保護者が主体的に学校運営に参画することが重要です。これにより、学校と地域が一体となって子どもたちを育むなど、地域総がかりの教育と学校を拠点とした地域づくりを目指して参ります。また、学校運営協議会委員間の情報交換や連携、教職員のコミュニティ・スクールへの認識を深める研修

会を実施して参ります。これらの取組により、学校と地域との連携を強化し、より良い教育環境の整備に努めて参ります。

また、大滝区におきましては、新たに大滝徳舜瞥学校に配置する「地域おこし協力隊」による学校教育への支援はもとより、地域と学校との連携を充実させ、双方の活性化に資する取組となることを目指して参ります。

「だて学」につきましては、子どもたちが地域の歴史や文化等に触れることは、豊かな情操を育むうえで重要であることから、関係団体や学校との連携のもと、地域の文化芸術や伝統芸能に携わる人材や団体、だて歴史文化ミュージアムとの連携や姉妹都市等との学習交流を通して、子どもたちがふるさと伊達市の魅力を体感できるよう、取組の充実を図って参ります。

異校種間の連携・接続につきましては、児童生徒が進級や進学をする際に、一人ひとりの持つ良さや可能性が十分に発揮されるよう、異なる学校種にわたって教育を見通し、指導内容の連続性や系統性を重視した連携を推進して参ります。特に、北海道伊達開来高等学校と教科指導を中心とした連携を強化することは、子どもたちが持つ潜在能力を最大限に引き出し、教育の質を向上させるために重要なステップと位置付けております。

教職員の資質・能力の向上につきましては、児童生徒にとって最大の教育環境は学校の教職員であり、教職員は教育公務員として、子どもたちの人格形成に大きな影響を与える立場にあることを忘れてはなりません。このことから、教職員には自ら研鑽を深め続けることや高い倫理観が求められており、教職員の指導力の向上や指導体制の充実を目的とした研修会を開催するとともに、各校において日常的に学び合う校内研修

の充実はもとより、北海道教育委員会等が行う研修事業への参加を促進して参ります。

また、体罰防止や個人情報の管理、交通規則の遵守等、教職員の服務規律保持の徹底につきましては、学校教育が児童生徒や保護者、地域住民との信頼関係のうえに成り立っていることを強く自覚し、教職員一人ひとりが「教育のプロ」としての使命感や責任感を保持することが求められております。このため、校内研修等の充実・改善はもとより、長期休業期間中の在宅勤務を進めるための「伊達市立学校職員の在宅勤務実施要領」を制定し、校務支援システムを活用した校務のデジタル化・オンライン化による学校教育の充実と学校の働き方改革の推進に努めて参ります。

信頼される教育環境の整備

学校施設につきましては、「伊達市学校施設長寿命化計画」に基づき、「関内小学校体育館暖房設備改修事業」や「伊達中学校校舎等照明設備改修事業」等を進め、老朽化が進む施設・設備の改修や維持管理を行うことで、安全・安心な教育環境の確保に努めて参ります。

学校の安全対策につきましては、児童生徒の交通安全教育を推進するとともに、関係機関で構成されている「登下校安全対策推進会議」において、通学路の危険箇所の現地確認等を行い、保護者、学校及び警察による安全に係る取組を継続して参ります。更に、スクールガードリーダーや地域住民の見守り活動団体等と連携して、子どもの安全確保に努めて参ります。

また、学校統合に伴い、登下校の際に児童生徒が利用するスクールバスの安全運行に努め、児童生徒が安全に通学できる環境を維持して参ります。

（２）　社会教育

第二は、社会教育についてであります。

ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進

次代を担う青少年が、多様な体験や幅広い世代との交流を通して、創造性や協調性等を養い、夢や目標を持って健やかに成長できるよう、市民団体と協力して青少年教育事業の充実を図って参ります。

更に、地域のリーダー育成を目指し、青少年に対する各種研修や交流事業への参加を促進し、模範的な行動を顕彰することで誇りと自信を高め、豊かな心と実践力の育成に努めて参ります。

また、「だて学」を通して、地元愛に根差した地域創生の原動力となる「伊達プライド」を持った「伊達人（だてびと）」を育成するとともに、青少年が新たな価値を生み出す資質・能力を育んで参ります。これにより、青少年が地域社会において主体的に貢献できる人材として成長することを期待しております。

共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進

市民への生涯にわたる学習機会の提供につきましては、「市民カレッジ」等の各種講座に多くの市民が参加できるよう、メニューや実施日時等を工夫して参ります。また、「市民講座」につきましては、講座内容の更なる充実を図るため、実施主体であるカルチャーセンター指定管理者と連携して参ります。

「長生大学」につきましては、学習内容の工夫・改善や学習活動の活性化に努めることで、高齢者の向学心に応えるとともに、健康で心豊か

な生活を送るための場や仲間づくりの場としての役割を担って参ります。

また、「だて学」を広く市民にも学んでいただくために、市民カレッジ、市民講座、長生大学等において「オトナのだて学」と冠した講座等の充実に取り組んで参ります。これにより、市民が地域の歴史や文化に触れる機会を増やし、地元愛を育むことを目指して参ります。

「放課後児童クラブ」につきましては、学校との連携を図りつつ、児童や保護者にとってより良い放課後等の居場所、学習や交流の場となるよう、事業の充実・改善を図って参ります。

また、伊達小学校区の放課後児童クラブを、同校敷地内に新築し、これまで２箇所に分かれていたものを統合したことから、利用する際の利便性・安全性が増すものと期待しております。

男女共同参画の推進につきましては、女性リーダー養成研修への参加者派遣や教養講演会等を開催することにより、意識啓発を進めて参ります。これにより、ジェンダー平等の意識を高め、社会全体における男女共同参画の実現を目指して参ります。

図書館につきましては、新図書館の完成に向けて業務を推進する中で、デジタル化推進の一環として、ＩＣタグシステムの導入準備を進めて参ります。また、北海道立図書館等との連携を通して電子図書等の電子コンテンツの活用を推進し、市民サービスの向上に努めて参ります。

更に、利用者層の拡大を視野に入れ、開館日数の増や開館時間の延長を検討し、新図書館における運営体制の改善を図って参ります。

また、「伊達市立図書館運営基本方針」に基づき、居心地の良い魅力ある図書館を実現するため、図書館運営協力会と連携し、新図書館への移行に向けて、市民の生涯学習活動、リカレント教育やリスキリングを

支援する図書館環境を充実させて参ります。併せて、ボランティア団体や市内の市立及び道立学校との連携により、各種事業を通じて読書習慣を形成し、読解力の向上にもつながるよう読書普及活動の推進を図って参ります。

（３）　歴史・文化芸術

第三は、歴史・文化芸術についてであります。

特色ある地域文化の推進

文化芸術につきましては、カルチャーセンターやだて歴史文化ミュージアム等を活用し、施設の指定管理者や関係団体等と連携しながら、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供して参ります。また、小中義務教育学校の児童生徒に対しては、創造性や感性を育むため文化芸術鑑賞の機会を提供する「学校芸術鑑賞事業」を実施して参ります。

文化芸術活動の普及につきましては、市民が文化芸術活動を発表し展示できる場として、伊達市文化協会との共催事業である「伊達市民総合文化祭」の開催を通して、活動の活性化に資する支援を進めて参ります。また、噴火湾文化研究所におきましては、事業の受託者と連携し、市民等を対象とした絵画教室を実施して参ります。

カルチャーセンターにつきましては、市民の文化芸術活動や生涯学習の拠点としての役割を果たすため、施設の指定管理者やＮＰＯ法人伊達メセナ協会、伊達市文化協会等の関係団体との連携を強化し、市民の文化芸術振興の持続的発展を目指すよう支援して参ります。また、「カルチャーセンター長寿命化計画」に基づき、「大ホール舞台調光設備及び大ホール・講堂客席照明改修事業」等を実施して参ります。これに加えて、老朽化が進む建物や設備の改修、適切な維持管理を行うことで、安全・安心な環境の確保を図るとともに、指定管理者と連携し、運営の充実・改善に努めて参ります。これらの取組により、市民の文化芸術振興の持続的発展を目指して参ります。

伝統芸能・郷土芸能につきましては、コロナ禍によって停滞していた活動の本格的な再開に向けた取組を支援しつつ、関係団体と学校、地域等との連携を強化することで、持続的な普及と伝承を図る取組を進めて参ります。これにより、地域の文化遺産を次世代に継承し、地域の文化的な活力を高めることを目指して参ります。

歴史文化を活かしたまちづくりの推進

本市は、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である北黄金貝塚をはじめとする縄文文化とアイヌ文化、そして仙台藩亘理伊達家の移住による武家文化が連なり融合した、稀有な歴史文化を基盤とするまちであります。この豊かな郷土の歴史と文化を市民が深く理解し、誇りを持てるようなまちづくりを進めて参ります。

北黄金貝塚につきましては、その価値を周知するだけでなく、教育資産としての活用を推進する取組を行って参ります。

これまで、展示方法の見直しや駐車場等の整備を通じて来訪者の利便性や満足度の向上を図って参りました。また、北黄金貝塚情報センターの冬期休館中には、だて歴史文化ミュージアムを活用することで世界文化遺産の構成資産としてのガイダンス機能を通年で確保し、その価値の周知に努めて参りました。今後も、幅広い来訪者が縄文文化への理解をより深められるよう、デジタルコンテンツの活用を含めた展示方法等の工夫・改善に努めて参ります。

また、学校教育と連携し、「だて学」を通じて児童生徒が北黄金貝塚について理解を深められるよう支援して参ります。

洞爺湖町の入江・高砂貝塚との連携による「ルート37の世界遺産ＪＯＭＯＮ」の取組は、縄文遺跡群の広域的な活用促進の一環として、世界遺産の魅力を発信するための重要な活動です。この取組を通して、地域

の文化遺産の価値を広く伝えることを目指し、地域の歴史文化を活かしたまちづくりを推進して参ります。

有珠善光寺は、北海道遺産「蝦夷三官寺」の一つとして、三官寺が所在する厚岸町や様似町と連携し、スタンプラリー事業を通じて周遊観光の促進を図って参ります。この取組は、地域の歴史の文化的価値を伝えることを目的としており、子どもたちにも分かりやすいガイドブックを配布することで、地域の歴史文化への理解を深めることを目指して参ります。

だて歴史文化ミュージアムにつきましては、特色あるまちの歴史文化を俯瞰的に理解することができる施設として、展示内容を工夫して参ります。また、北黄金貝塚や有珠善光寺、旧伊達邸庭園等の歴史文化遺産をはじめ、地域ごとに点在する「まちなかの歴史文化」をつなぐプラットフォームとして、情報発信を強化して参ります。

更に、市内の学校や周辺観光施設、指定管理者との連携を通して、「学究の場」と「集い学び合える場」となるよう努め、教育や観光の促進を目指して参ります。

（４）　スポーツ

第四は、スポーツについてであります。

豊かな心身を育むスポーツの振興

「人生１００年時代」と言われる現代において、健康・体力づくりへの関心がますます高まっていることを背景に、健康で生きがいを持った生活を送るために、スポーツ・レクリエーション活動の充実が求められております。

ニュースポーツを含めた生涯スポーツの取組を拡充するために、スポーツ施設の指定管理者が、ＮＰＯ法人伊達スポーツ協会や伊達市地域体育振興会連絡協議会、スポーツ推進委員会等の関係団体と連携し、健康づくり事業やスポーツ教室を運営し、各種大会を開催するよう支援して参ります。

また、より多くの市民が総合体育館をはじめとしたスポーツ施設を有効に活用できるよう、施設の指定管理者が実施する自主事業を通じて、市民への運動機会の提供とその充実を図って参ります。併せて、利用者アンケートによる評価等を基に、施設管理や運営の充実・改善に努めて参ります。

北海道電力伊達火力発電所の休止に伴う「ほくでんスポーツ公園」の今後の利用につきましては、当該及び関連企業等と連携し、今後も市民が利用できるようにして参ります。

子どもたちの健やかな体を育むためには、学校、地域、家庭が一体となり、運動を楽しみながら体力を向上させる機運を醸成することが必要です。そのため、文化部を含めた中学校部活動と伊達スポーツクラブ“藍”による地域展開活動をハイブリッド化させることにより、生徒の

活動機会の拡充を図って参ります。この取組を通して、地域と学校が一体となってスポーツの振興や、学校の働き方改革の推進を図るとともに、事業体制の充実・改善を進めながら、生徒たちがより多くの経験を積み、心身ともに健やかに成長できるよう行って参ります。

４　むすび

以上、令和７年度の教育行政に臨む基本姿勢等につきまして申し上げました。

これからの社会は、生成ＡＩを含むデジタル技術が加速度的かつ飛躍的に進展し、その技術をあらゆる場面で活用しながら個人や社会の活動が行われるようになります。だからこそ、人と人との関わりを大切にし、様々な社会的課題に対し「当事者」としての意識を持って、一人ひとりの多様な幸せ、すなわち「ウェルビーイング（Ｗｅｌｌ－ｂｅｉｎｇ）」が実現される社会を目指す必要があります。そのためにも、他者と協働しながら新たな価値観を創出して、社会の中で自らを活かすことができ、更には地域の発展に寄与し、持続可能な地域社会の実現に向けて活躍する人材の育成を図らなければなりません。

伊達市教育委員会といたしましては、今後も、学校教育と社会教育が連動し、学校、家庭、地域、そして関係機関や団体等との連携を図りながら、本市教育のより一層の充実・発展に向けて、全力で取り組んで参ります。

市民並びに市議会議員の皆さまのご理解とご協力を引き続き賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【資料2】

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【 **社会教育委員関係事業** 】　　担当課・係　**生涯学習課社会教育係**

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
第１回伊達市社会教育委員会議（伊達市役所第２庁舎）	◎令和６年度教育行政執行方針説明 ◎令和５年度社会教育事業実施報告 ◎令和６年度社会教育事業実施計画	R06.06.19	委員９名	
第２回伊達市社会教育委員会議	－	－	－	【中止】
北海道社会教育委員連絡協議会通常総会（札幌市：かでる２・７）	◎令和５年度事業実施・決算報告 ◎令和６年度事業計画・予算報告 ◆小林委員は道社連協評議員として出席	R06.04.12	小林委員	
胆振管内社会教育委員連絡協議会役員会・総会（室蘭市）	◎令和５年度事業実施・決算報告 ◎令和６年度事業計画・予算報告 ◆規約により委員２名が出席	R06.05.27	小林委員 伊藤(成)委員	書面会議
北海道社会教育委員連絡協議会第２回理事会（札幌市：かでる２・７）	◎令和６年度全道表彰者の決定 ◎令和６年度全国表彰者の推薦 ◎役員改選の検討	R06.06.14	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員長等研修会（札幌市：かでる２・７）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R06.07.11～ R06.07.12	小林委員	
胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会・永年勤続表彰式（伊達市）	胆振管内の社会教育委員及び社会教育関係職員が対象の研修会	R06.10.23	小林委員 北越委員	
北海道社会教育委員連絡協議会第３回理事会（網走市：オホーツク・文化交流センター）	◎第64回北海道社会教育研究大会 ◎第71回全国社会教育研究大会	R06.11.01	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育研究大会オホーツク大会（網走市：オホーツク・文化交流センター）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R06.11.01～ R06.11.02	小林委員	
北海道社会教育委員連絡協議会第４回理事会（札幌市：かでる２・７）	◎令和６年度事業報告・決算見込 ◎令和７年度活動方針・事業計画・予算	R07.03.14	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰	勤続年数１０年以上の社会教育委員を道社連協に推薦。（該当なし）			
胆振管内社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰	勤続年数６年以上の社会教育委員を胆社連協に推薦。（該当なし）			

※会議や研修会に出席した委員には、既定の旅費及び日額報酬が支払われます。
※北海道社会教育委員連絡協議会⇒道社連協、胆振管内社会教育委員連絡協議会⇒胆社連協

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
マイプラン・マイスタディ事業	市民団体等が行う社会教育に関する講演会等の講師謝礼金の一部を市が負担する事業。 参加者が主催団体の会員など、一部の市民に限定される事業ではなく、一般にも開放されていることが条件となる。 ◎負担上限額：20,000円	通年	３件	
だて市民カレッジ 〔第１講座〕 (カルチャーセンター)	「音楽は人と人とをつなぐ」 講師：「ueru」（ウエル） 藤河 ちあき 氏　籠嶋 学 氏	R06.06.08	42	
だて市民カレッジ 〔第２講座〕 (恵庭市)	「えこりん村見学研修」	R06.07.11	29	市バス
だて市民カレッジ 〔第３講座〕 (カルチャーセンター)	「なせど成らぬことばかり、されど楽し我が人生」 講師：(株)中井英策商店 代表取締役社長　及川 昌弘 氏	R06.08.24	26	
だて市民カレッジ 〔第４講座〕 (カルチャーセンター)	「世界を夢見て 」 講師：HKR JUMPROPE CLUB 代表 川南 光 氏	R06.10.06	56	
だて市民カレッジ 〔第５講座〕 (カルチャーセンター)	「NHKディレクターが猟師になるまで」 講師：猟師　黒田 未来雄 氏	R06.11.29	51	
伊達市長生大学 （カルチャーセンター・有珠白鳥館）	◎伊達長生大学(カルチャー)と有珠長生大学(白鳥館)の２ヶ所を開校。 ◎伊達長生大学は、年間21日の学習日で、午前が講義、午後から実技。 ◎有珠長生大学は午前中のみ開校で、講義又は実技を行っている。 ◎学習日以外の活動としては、見学旅行（２回）、運動会、学芸発表会、ボランティア活動等を行っている。 ◎伊達長生大学には任意加入の部活(市管理外)もあり、独自に活動している。	通年	R06.04.30現在 65歳以上人口 12,233 R06年度在籍数 伊達　145 有珠　12 合計　157	

※市民カレッジについては「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
女性プラザ祭 （かでる２・７）	札幌市で開催されるイベントに、市民を集い参加する。 ※案内から開催までの期間が短く周知が間に合わないため不参加。	R06.11.05～ R06.11.09	－	【不参加】
男女共同参画パネル展 (カルチャーセンター)	テーマ「あなたが望まない性的な行為は性暴力です」 ※パネルは北海道立女性プラザより借用。	R06.12.10～ R06.12.15	－	
男女共同参画教養講演会 (カルチャーセンター)	『家族の笑顔が生まれる！幸せのキッチンのメソッド』」 講師：ララプラスキッチン代表 キッチンアドバイザー 阿部 美子 氏	R06.12.15	17	
胆振女性リーダー養成研修 （埼玉県比企郡嵐山町）	男女共同参画推進フォーラムに市民を派遣。（胆振管内教育委員会連絡協議会主催事業）	R06.11.29～ R06.11.30	3	
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	市内全小学校の児童を対象に開設。 ◆保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童を対象に受け入れ ◆保育時間は、下校時刻から最大午後６時半まで ◆休日保育は、さくら・あやめ児童クラブで実施 ◆各児童クラブには、会計年度任用職員２名以上を配置 ◆保育料は月額6,000円 ※軽減あり ◆補食（おやつ）あり ◆令和６年度登録状況 （令和７年３月時点） ◎伊達小 うめのこ児童クラブ　48名 さくら児童クラブ　41名 あやめ児童クラブ　43名 ◎東小 第１やまびこ児童クラブ　32名 第２やまびこ児童クラブ　30名 第３やまびこ児童クラブ　28名 ◎伊達西小・関内小・有珠小 ほしのこ児童クラブ　21名 かぜのこ児童クラブ　15名 きたのこ児童クラブ　23名 ◎大滝徳舜瞥学校前期課程 おおたき児童クラブ　5名 合計　286名	通年	R07.03時点 児童数　1,194 ※児童クラブがない星の丘小学校を除く。 R07.03時点 登録数　286 ※期間通所児童（長期休みのみ通所）を含む。	
宅配講座事業	市職員が講師となり行う座学講座 ◎全58ジャンル ◎参加者が５名以上であれば、自治会や各種サークル等で申込可 ◎会場費等は申請者が負担	通年	〔R06実績〕 95件4,095人	

※男女共同参画教養講演会については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　文化芸術事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
市民総合文化祭2024 (カルチャーセンター)	伊達市文化協会加盟団体ほか長生大学等の非加盟団体が参加する文化祭。 （参加22団体）	R06.10.12～ R06.11.24	4,753	
文化・芸術鑑賞講座（札幌市）	旧市民講座で取り組んでいた舞台芸術等の鑑賞講座。 ・座学１回（カルチャーセンター） ・芸術鑑賞１回（北海道立三岸好太郎美術館・北海道立近代美術館）	〔事前学習〕 R06.10.17 〔舞台鑑賞〕 R06.10.19	21	市バス
西いぶり定住自立圏文化事業「春風亭小朝　落語独演会」（登別市）	西胆振６市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で実行委員会を組織し開催している文化公演事業。 ◎チケット販売枚数は614枚（うち伊達市分43枚）	R06.09.08	601	
巡回小劇場事業 〔小学校高学年公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校高学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆ＭＪＰグループ 〔音楽公演〕カンタービレ	R06.07.04	586	
巡回小劇場事業 〔小学校低学年公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校低学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団民話芸術座 〔児童劇〕河童の笛	R06.07.17	646	
巡回小劇場事業 〔中学校公演〕 (カルチャーセンター)	市内の中学校（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆percussion performance players 〔音楽公演〕ＰＰＰの楽しい芸術鑑賞会	R06.09.10	710	
市民サークルまつり (カルチャーセンター)	市内文化系サークルによるイベント （文化協会非加盟の１６団体）	R06.09.06～ R06.09.08	507	
現代写実絵画研究所 絵画教室「野田・永山塾」画家育成コース・大人の写実絵画コース (噴火湾文化研究所)	画家である顧問の野田弘志氏と講師の永山優子氏による、小学生から一般（大人）を対象とした絵画教室。	通年	画家育成コース　9 大人の写実絵画コース　29	
現代写実絵画研究所 リアリズム絵画セミナー (噴火湾文化研究所)	リアリズム絵画を志す人を対象としたセミナーで、顧問の野田弘志氏、画家の永山優子氏、外部講師が指導。	①R06.08.05 ～R06.08.11 ②R06.12.11 ～R06.12.20 ③R07.03.01 ～R07.03.02	36	
北海道ジュニア美術セミナー（防災センター）	小学校４年生から高校生を対象とした絵画教室。絵画に興味を持ってもらうことやレベル向上を目的に開催。	R06.07.13～ R06.07.14	6	
教育関係合同表彰式 (カルチャーセンター)	芸術文化賞　1名 芸術文化奨励賞　5名 市民スポーツ賞表彰　74名 市民体力づくり運動功績者行賞　5名 合計　85名	R07.02.20	85	

※文化・芸術鑑賞講座については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　歴史事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
だて噴火湾縄文まつりシンポジウム （カルチャーセンター）	縄文文化を学び、親しむためのシンポジウム	R06.10.19	100	
だて噴火湾縄文まつり本まつり （史跡北黄金貝塚公園）	縄文文化を学び、親しむための体験学習イベント	R06.10.20	700	
動物考古学セミナー （カルチャーセンター）	動物標本や貝塚から出土した魚や動物の骨を用いた講座・ワークショップ	R07.02.15	39	
文化財防火デー （善光寺・三戸部家住宅）	重要文化財を火災から守るための消防訓練	R06.11.26	24	
伊達市歴史文化講座 （史跡北黄金貝塚公園・ミュージアム・迎賓館）	北黄金貝塚で縄文文化を学び、史跡ガイドとなる人材を養成する講座（月１回の７回開催）	R06.04～11 ※10月除く	166	
復元貝塚再生プロジェクト （史跡北黄金貝塚公園）	史跡公園の復元貝塚の貝殻を更新するため、市民から貝殻を持ち寄ってもらう史跡づくり参加型事業	R06.04～11	15	

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　ミュージアム事業　】　　担当課・係　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
企画展「端午の節句　甲冑展」 （本館２階特別展示室）	端午の節句に合わせて、ミュージアム所蔵の甲冑や刀剣等を展示する企画展。	R06.04.20～ R06.06.23	1,309	（要） 観覧料
企画展「伊達政宗文書をよむ」 （本館２階特別展示室）	だて歴史文化ミュージアムが所蔵する伊達政宗が記した書状等を展示する企画展。	R06.07.06～ R06.09.23	2,430	（要） 観覧料
企画展「洛中洛外図屏風」 （本館２階特別展示室）	だて歴史文化ミュージアムが所蔵する洛中洛外図屏風等を展示する企画展。	R06.10.05～ R07.01.19	1,173	（要） 観覧料
企画展「亘理伊達家のお雛様」 （本館２階特別展示室）	ひな祭りに合わせて、亘理伊達家由来のお雛様などを展示する企画展。	R07.02.01～ R07.03.30	1,677	（要） 観覧料
企画展「北海道の工芸」 （本館１階ラーニング・スタジオ）	道内の若手作家や過去に旧大滝村の工芸展で展示された作品等の企画展。	R06.10.01～ R06.10.14	1,356	無料
企画展「史跡北黄金貝塚」 （本館１階ラーニング・スタジオ）	冬季休館する史跡北黄金貝塚の代替となる世界遺産ガイダンス施設としての企画展。	R06.12.10～ R07.03.23	3,303	無料
「古文書教室」 （本館１階ライブラリー・コモンズ）	企画展「伊達政宗文書をよむ」関連イベントとして開催した講座。北海道立文書館との共催事業。	R06.08.24	31	無料
ナイトミュージアム事業 （本館）	武者まつり前夜祭に合わせてミュージアムの無料公開及び開館時間の延長を実施。	R06.08.02	403	無料

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　青少年事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
第１回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「お茶」と「お話」を楽しもう 〔協力者・協力団体〕 武者　ますみ　氏 サークル「お話の森」 つどいサークル「ドロップ」	R06.05.25	35	児童：26 保護者等：9
第２回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「モルック教室」 〔協力団体〕 伊達モルック同好会	R06.07.13	18	児童：10 保護者等：8
第３回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「心ときめく小さな音楽会」 〔協力者・団体〕 演奏者６名 つどいサークル「ドロップ」	R06.08.31	21	児童：10 保護者等：11
第４回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「自分だけのマジックハンドを作ろう！」 〔協力者・協力団体〕 渡辺　元佳　氏 つどいサークル「ドロップ」	R06.09.14	81	児童：48 保護者等：33
第５回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ミニフラワーアレンジメント」 〔協力者・団体〕 澤田　知子　氏（青葉） つどいサークル「ドロップ」	R06.10.05	102	児童：66 保護者等：36
第６回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「親子でお金について学ぼう」 〔協力者〕 柏村　太一　氏 三上　誉人　氏	R06.11.23	18	児童：8 保護者等：10
第７回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「クリスマスツリーを作ろう！」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」他	R06.12.14	41	児童：20 保護者等：21
第８回だてっ子遊び・学びの教室 (ミュージアム)	「動物考古学ワークショップ」 担当：文化財係	R07.02.15	77	児童：39 保護者等：38
親子体験教室 （まなびの里パークゴルフ場）	小中学生とその保護者を対象とした親子参加型の体験事業 （パークゴルフ教室）	R06.08.17	8人(3組)	
あそびましておめでとう （ミュージアム）	「縄文ねん土あそび」 〔協力団体〕 担当：文化財係	R07.01.11	45	児童：30 保護者等：15

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　青少年事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会（宮城県亘理郡亘理町）	姉妹・歴史友好都市である、宮城県亘理町、山元町、柴田町、福島県新地町、伊達市の中高生シニアリーダーが一堂に会し研修・交流する。 〔協力団体〕 伊達シニアクラブスポーツ少年団 伊達開来高等学校	R06.07.31～ R06.08.02 （２泊３日）	7	高校生：5 引率：2
令和７年「伊達市二十歳(はたち)を祝う会」(カルチャーセンター)	二十歳の誓い、ビデオレター上映を実施 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB	R07.01.12	216	

事業名　【　　スポーツ事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
春一番伊達ハーフマラソン（メイン会場：だて歴史の杜総合公園）	３・10km、ハーフ（21.098km）	R06.04.21	2,459	
おおたき国際ノルディックウォーキング（大滝総合運動公園）	３・６・９・12km	R06.07.07	230	
おおたき国際スキーマラソン（大滝総合運動公園）	３・５・７・15km	R07.02.09	304	

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　図書館事業　　】－１　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
2024春の読書週間 （図書館）	子ども読書週間に合わせて、小学生子ども一日司書体験、子ども向けの本の展示等を実施。 また、２日間限定で２階に「ひみつのへや」を設置し、会場内で読み聞かせや大型絵本の展示など楽しみながら本に触れ合ってもらう。	R06.04.19～ R06.05.05	期間計 1,779	
堀内文庫・伊東文庫巡回事業（市内全小学校等）	堀内氏、伊東氏からの寄贈児童書を各校(６校)に１ヶ月程度巡回	R06.06中旬～ R07.02下旬	―	
あなたの推し本 ＰＯＰコンテスト （図書館）	市内小中学生等と市内高校生を対象にＰＯＰコンテストを行う。 図書に対する興味を誘い、読書への意欲の継続・向上を目的として実施。 受賞者は、秋の読書週間に図書館本館で図書を借りた方による投票で決定。	◎作品募集 R06.06.25～ R06.08.31 ◎投票審査 R06.10.25～ R06.11.03 ◎表彰式 R06.11.30	応募　481 審査対象　319 表彰　16	
七夕飾りづくり （図書館）	高さ４ｍの竹を設置し、子ども達が期間中書いた短冊を飾る。	R06.07.05～ R06.08.07	期間計 185	
2024秋の読書週間 （図書館）	大人も楽しむお話会、図書館クイズ、POP展示、ひみつのへや、アナログゲーム会、飲食ニーズ実証実験等を実施。	R06.10.25～ R06.11.03	期間計 1,398	
おはなし会 （図書館）	幼児から小学生向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施する。	毎月第１土曜日、春と秋の読書週間	延べ 223	保護者含
絵本の読み聞かせ会 （図書館）	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施する。	毎月 第２・４水曜日	延べ 339	保護者含
大人も楽しむお話会 （図書館）	語り手がお話を覚えて語り聞かせるストーリーテリング。	R06.04.19 R06.10.25	延べ 29	
子ども映画会 （図書館）	子ども向け映画会の上映を行う。	毎月第３土曜日、春と秋の読書週間	延べ 105	保護者含
地域文庫配本 （各地域文庫５箇所）	図書館遠隔地にその地域と協働で地域文庫を設置。半年に一度250冊の図書を寄託・巡回し、地域住民への読書サービスの向上に努める。（５地域に開設）	各文庫 年２回入替	―	
ブックスタート （保健センター）	読書啓発と子育て支援のため、乳幼児健康栄養相談（１歳児対象）の際に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	隔月１回	受渡 104	
ブックスタート・ステップ （図書館）	読書啓発と子育て支援のため、２歳児を対象に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	５日間１クールを年３回実施（7、11、3月）	受渡 84	
研修生受入事業 （図書館）	図書館業務を体験することで図書館への理解を深めてもらうとともに、研修生の勤労観、職業観の育成等に資する。対象は中学生以上の生徒・学生。	随時	1	

令和６年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　図書館事業　　】－２　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
図書館でゲームしたいから、みんな持って来て（図書館）	アナログゲーム（ボードゲーム、カードゲーム、ベイブレード等）を持ち寄って遊ぶ。 協力：ゲーム会銀の鈴（倒さないドミノを普及する会）	R06.10.27 R06.11.24 R06.12.22 R07.03.30	延べ 200	
子どもの日（図書館）	子どもの権利条例パネル展示・すごろく体験、子ども食堂によるカレーライス販売（飲食ニーズ実証実験）。 協力：伊達市に子どもの権利条例をつくる会、NPO法人おやこ応援団いちごはうすの会	R07.01.08	50	
はじめての百人一首（図書館）	百人一首体験 協力：ゲーム会銀の鈴（倒さないドミノを普及する会）	R07.01.11	50	
冬休みベイブレードＸ体験大会（図書館）	主に小学生以下を対象としたベイブレードＸ大会	R07.01.12	100	保護者含
桃太郎電鉄教育版体験会（図書館）	桃太郎電鉄教育版の教育関係者向け体験会、市民向け体験会等	R07.01.21～ R07.01.31 R07.02.23 R07.03.04 R07.03.09 R07.03.11	延べ 20	
作るを楽しむワークショップ（図書館）	ハンドメイドワークショップ（飲食ニーズ実証実験） 協力：handmade2525、mi-has	R07.02.08～ R07.02.09	延べ 400	
図書館講演会『藍染めのワンダーランドへ』（図書館）	aizome-I金子智志氏による講演会（飲食ニーズ実証実験）	R07.03.02	30	
世界四大ゲームドミノをやってみよう（図書館）	倒さないドミノ体験 協力：ゲーム会銀の鈴（倒さないドミノを普及する会）	R07.03.15	10	
伊達市立図書館ファイナルカウントダウン第１戦（図書館）	タカラトミー公認ベイブレードＸ大会	R07.03.23	100	保護者含

【資料3】

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【 社会教育委員関係事業 】　　担当課・係　生涯学習課社会教育係

◆開催予定日：上⇒上旬、中⇒中旬、下⇒下旬、未⇒未定　〔R07.04.未⇒４月開催で未定〕

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
第１回伊達市社会教育委員会議（市役所第２庁舎）	◎令和７年度教育行政執行方針説明 ◎令和６年度社会教育事業実施報告 ◎令和７年度社会教育事業実施計画	R07.07.16	社会教育委員 教委関係職員	
第２回伊達市社会教育委員会議（会場未定）	◎令和８年度事業実施計画ほか	R08.02.未	社会教育委員 教委関係職員	
北海道社会教育委員連絡協議会通常総会（札幌市：かでる２・７）	◎令和６年度事業実施・決算報告 ◎令和７年度事業計画・予算報告	R07.04.18	小林委員	道社連協副会長として出席
胆振管内社会教育委員連絡協議会役員会・総会（伊達市）	◎令和６年度事業実施・決算報告 ◎令和７年度事業計画・予算報告 ◆規約で委員２名が出席	R07.05.30	小林委員 伊藤(成)委員	書面会議
北海道社会教育委員連絡協議会第２回理事会（札幌市：かでる２・７）	◎令和７年度全道表彰者の決定 ◎令和７年度全国表彰者の推薦	R07.06.13	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会第３回理事会（札幌市：かでる２・７）	◎第64回北海道社会教育研究大会 ◎第65回北海道社会教育研究大会	R07.07.07	小林委員	道社連協副会長として出席
第45回北海道社会教育委員長等研修会（札幌市：かでる２・７）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R07.07.07～ R07.07.08	小林委員	
胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会・永年勤続表彰式（伊達市）	胆振管内の社会教育委員及び社会教育関係職員が対象の研修会。	R07.10.未	社会教育委員 教委関係職員	
第64回北海道社会教育研究大会檜山大会（今金町）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会。	R07.11.07	社会教育委員 教委関係職員	
北海道社会教育委員連絡協議会第４回理事会（札幌市：かでる２・７）	未定	R08.03.未	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数１０年以上の社会教育委員を道社連協に推薦。（該当なし）			
胆振管内社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数６年以上の社会教育委員を胆社連協に推薦。（安孫子委員・神委員・鳴海委員該当）			

※会議や研修会に出席した委員には、既定の旅費及び日額報酬が支払われます。
※北海道社会教育委員連絡協議会⇒道社連協、胆振管内社会教育委員連絡協議会⇒胆社連協

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
マイプラン・マイスタディ事業	市民団体等が行う社会教育に関する講演会等の講師謝礼金の一部を市が負担する事業。 参加者が主催団体の会員など、一部の市民に限定される事業ではなく、一般にも開放されていることが条件となる。 ◎負担上限額：20,000円	通年	〔R07予算額〕 ８件160,000円	
だて市民カレッジ 〔第１講座〕 (カルチャーセンター)	「聞かせてよ愛の言葉を～シャンソンに魅せられて」 講師：シャンソン歌手 竹原 真弓 氏 ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝﾌﾟﾚｲﾔｰ 成沢 優美 氏	R07.05.31	54	
だて市民カレッジ 〔第２講座〕 (千歳市)	「千歳方面工場見学（市バス見学研修）」 ・キッコーマン千歳工場 ・千歳サケのふるさと館 ・岩塚製菓工場直売所	R07.07.08	29	市バス
だて市民カレッジ 〔第３講座〕 (カルチャーセンター)	「順調じゃなくてもいいじゃないか☆」 講師：HOTEL DATTEL　支配人 磯辺　大輔 氏	R07.08.30	40	
だて市民カレッジ 〔第４講座〕 (カルチャーセンター)	「北海道のおいしい食材と物語」 講師：第170回直木賞受賞作家 河﨑 秋子 氏	R07.09.27	100	
だて市民カレッジ 〔第５講座〕 (カルチャーセンター)	「演題未定」 講師：NPO法人病院経営支援機構 合谷 貴史 氏	R07.10.25	40	
伊達市長生大学 （カルチャーセンター・有珠白鳥館）	◎伊達長生大学(カルチャー)と有珠長生大学(白鳥館)の２ヶ所を開校。 ◎伊達長生大学は、年間21日の学習日で、午前が講義、午後から実技。 ◎有珠長生大学は午前中のみ開校で、講義又は実技を行っている。 ◎学習日以外の活動としては、見学旅行（２回）、運動会、学芸発表会、ボランティア活動等を行っている。 ◎伊達長生大学には任意加入の部活(市管理外)もあり、独自に活動している。	通年	R07.04.30現在 65歳以上人口 12,138 R07年度在籍数 伊達　142 有珠　13 合計　155	

※市民カレッジについては「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
女性プラザ祭 （かでる２・７）	札幌市で開催。市民を集い参加する予定だが、令和７年度の詳細については不明。	（未定）	30	市バス
胆振女性リーダー養成研修 （埼玉県比企郡嵐山町）	男女共同参画推進フォーラムに市民２名を派遣する。 ※令和７年度より市単独事業	（未定）	市民 2 職員 1	
男女共同参画パネル展 （カルチャーセンター）	カルチャーセンターロビーにて開催 ※パネルは北海道立女性プラザより借用。	（未定）	―	
男女共同参画教養講演会 （カルチャーセンター）	男女共同参画社会づくり啓発のための講演会。	（未定）	50	
放課後児童健全育成事業 （放課後児童クラブ）	市内全小学校の児童を対象に開設。 ◆保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童を対象に受け入れ ◆保育時間は、下校時刻から最大午後６時半まで ◆休日保育はうめのこ児童クラブで実施 ◆各児童クラブには、会計年度任用職員２名以上を配置 ◆保育料は月額２，０００円 **※令和７年度より減額** ※軽減あり ◆補食（おやつ）あり ◆令和７年度各クラブ定員 ◎伊達小 第１うめのこ児童クラブ　40名 第２うめのこ児童クラブ　40名 第３うめのこ児童クラブ　40名 ◎東小 第１やまびこ児童クラブ　35名 第２やまびこ児童クラブ　35名 第３やまびこ児童クラブ　40名 ◎伊達西小・関内小 第１ほしのこ児童クラブ　40名 第２ほしのこ児童クラブ　40名 第３ほしのこ児童クラブ　40名 ◎大滝徳舜瞥学校前期課程 おおたき児童クラブ　15名 合計　365名 ※さくら・あやめ児童クラブは新施設建設により令和７年度からうめのこ児童クラブに統合	通年	令和７年度当初児童数　1,156 ※児童クラブがない星の丘小学校を除く。 令和７年度当初登録数　388 ※期間通所児童（長期休みのみ通所）を含む。	
宅配講座事業	市職員が講師となり行う座学講座 ◎全57ジャンル ◎参加者が５名以上であれば、自治会や各種サークル等で申込可 ◎会場費等は申請者が負担	通年	―	

※男女共同参画教養講演会については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　文化芸術事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
市民総合文化祭2025 (カルチャーセンター)	伊達市文化協会加盟団体ほか長生大学等の非加盟団体が参加する文化祭。 （参加見込23団体）	R07.10.11～ R07.11.23	3,000	
文化・芸術鑑賞講座 （札幌市）	旧市民講座で取り組んでいた舞台芸術鑑賞講座。 ・座学１回（カルチャーセンター） ・舞台鑑賞１回（札幌交響楽団）	〔事前学習〕 R07.10.15 〔舞台鑑賞〕 R07.10.19	30	市バス
西いぶり定住自立圏文化事業「劇団ミュージカル「赤毛のアン」」（伊達市）	◎西胆振６市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で実行委員会を組織し開催している文化公演事業。 ◎チケット販売枚数は931枚（うち伊達市分446枚）	R07.05.26	926	
巡回小劇場事業 〔小学校低学年公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校低学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆percussion performance players 〔音楽〕ＰＰＰの楽しい芸術鑑賞会	R07.06.30	515	
巡回小劇場事業 〔小学校高学年公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校高学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団四季（こころの劇場） 〔ミュージカル〕王子と少年	R07.09.10	672	
巡回小劇場事業 〔中学校公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校低学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団トマト座 〔音楽〕オズの魔法使い	R07.09.01	675	
市民サークルまつり (カルチャーセンター)	市内文化系サークルによるイベント （文化協会非加盟の16団体）	R07.09.05～ R07.09.07	500	
現代写実絵画研究所 絵画教室「野田・永山塾」画家育成コース・大人の写実絵画コース (噴火湾文化研究所)	画家である顧問の野田弘志氏と講師の永山優子氏による、小学生から一般（大人）を対象とした絵画教室。	通年	画家育成コース 8 大人の写実絵画コース 26	
現代写実絵画研究所 リアリズム絵画セミナー (噴火湾文化研究所)	リアリズム絵画を志す人を対象としたセミナーで、顧問の野田弘志氏、画家の永山優子氏、外部講師が指導。	年3回予定	15	
北海道ジュニア美術セミナー（防災センター）	小学校４年生から高校生を対象とした絵画教室。絵画に興味を持ってもらうことやレベル向上を目的に開催。	R07.07.19～ R07.07.20	10	
教育関係合同表彰式 (カルチャーセンター)	芸術文化表彰、青少年表彰、市民スポーツ賞表彰、市民体力づくり運動功績者行賞の合同表彰式	R08.02.未	―	

※文化・芸術鑑賞講座については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　歴史事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
だて噴火湾縄文まつりシンポジウム (カルチャーセンター)	縄文文化を学び、親しむためのシンポジウム	R07.07.12	70	
だて噴火湾縄文まつり本まつり (史跡北黄金貝塚公園)	縄文文化を学び、親しむための体験学習イベント	R07.07.13	900	
動物考古学セミナー （カルチャーセンター）	動物標本や貝塚から出土した魚や動物の骨を用いた講座・ワークショップ	R08.02.未	40	
文化財防火デー (善光寺・三戸部家住宅)	重要文化財を火災から守るための消防訓練	R07.11.中	20	
伊達市歴史文化講座 (史跡北黄金貝塚公園・ミュージアム・迎賓館)	北黄金貝塚で縄文文化を学び、史跡ガイドとなる人材を養成する講座（月１回の６回開催）	R07.05～11 ※7月除く	100	
復元貝塚再生プロジェクト (史跡北黄金貝塚公園)	史跡公園の復元貝塚の貝殻を更新するため、市民から貝殻を持ち寄ってもらう史跡づくり参加型事業	R07.04～11	10	

事業名　【　ミュージアム事業　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
企画展「端午の節句　甲冑展」 (本館２階特別展示室)	端午の節句に合わせて、ミュージアム所蔵の甲冑や刀剣等を展示する企画展。	R07.04.19～ R07.06.22	1,500	(要) 観覧料
企画展「小野潭の世界」 (本館２階特別展示室)	明治初期の亘理伊達家の移住やまちづくりの様子が描かれた小野潭筆の絵画等を展示する企画展。	R07.07.05～ R07.09.21	1,500	(要) 観覧料
企画展「伊達市の遺跡・史跡案内」 (本館２階特別展示室)	伊達市内に所在する遺跡を紹介する企画展。	R07.10.04～ R08.01.12	1,500	(要) 観覧料
企画展「亘理伊達家のお雛様」 (本館２階特別展示室)	ひな祭りに合わせて、亘理伊達家由来のお雛様などを展示する企画展。	R08.02.01～ R08.03.30	1,500	(要) 観覧料
企画展「史跡北黄金貝塚」 （本館１階ラーニング・スタジオ）	冬季休館する史跡北黄金貝塚の代替となる世界遺産ガイダンス施設としての企画展。	R07.12.13～ R08.03.22	3,000	無料

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　青少年事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
第１回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「お茶と切り紙アートを楽しもう」 〔協力者・協力団体〕 武者　ますみ　氏 つどいサークル「ドロップ」	R07.05.18	23	
第２回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「親子でお金について学ぼう」 〔協力者〕 柏村　太一　氏 三上　誉人　氏 担当；社会教育係	R07.06.21	30	
第３回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「モルック教室」 〔協力団体〕 伊達モルック同好会	R07.07.12	30	
第４回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「みんなで楽しくケンダマジック」 〔協力者・団体〕 奥出　敦彦　氏 つどいサークル「ドロップ」	R07.08.30	30	
第５回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「渡辺元佳氏ワークショップ」 〔協力者〕 渡辺　元佳　氏 つどいサークル「ドロップ」	R07.09.20	60	
第６回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ミニフラワーアレンジメント」 〔協力者〕 澤田　知子　氏 つどいサークル「ドロップ」	R07.10.18	30	
第７回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「スポーツ鬼ごっこ」 〔協力者〕 菅野　啓多　氏 担当；社会教育係	R07.11.29	30	
第８回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「お話と工作（クリスマスカード・オーナメント」 〔協力団体〕 サークル「お話の森」 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R07.12.13	30	
第９回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ボードゲーム・ペーパータワー作り」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R08.01.未	30	
第10回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「親子でお金について学ぼう（２回目）」 〔協力者〕 柏村　太一　氏 三上　誉人　氏 担当；社会教育係	R08.02.28	30	

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　青少年事業　　】 －２　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
親子体験教室 （まなびの里パークゴルフ場）	小中学生とその保護者を対象とした親子参加型の体験事業 （パークゴルフ教室）	R07.08.16	30人(15組)	
令和８年「伊達市二十歳(はたち)を祝う会」 (カルチャーセンター)	二十歳の誓い、ビデオレター等を予定 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB	R08.01.11	200	
あそびましておめでとう （未定）	「むかし遊び」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R08.01.未	30	

事業名　【　　スポーツ事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
春一番伊達ハーフマラソン（メイン会場：だて歴史の杜総合公園）	３km、10km、ハーフ（21.098km）	R07.04.20	2,695	
おおたき国際ノルディックウォーキング （大滝総合運動公園）	３・６・９・12km	R07.06.29	280	申込者数
おおたき国際スキーマラソン （大滝総合運動公園）	３・５・７・15km予定	R08.02.08	未定	

令和７年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　図書館事業　　】　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
2025春の読書週間（図書館）	子ども読書週間に合わせて、おはなし会、子ども司書体験、子ども向けの本の展示、ワークショップ、アナログゲーム、講演会（飲食ニーズ実証実験）等を実施。	R07.04.23～R07.05.11	期間計 2,196	
わくわくワークショップ（図書館）	ハンドメイドワークショップ（飲食ニーズ実証実験） 協力：handmade2525、mi-has他	R07.04.27	250	
図書館講演会『エゾシカのお兄さん～角角鹿鹿～』（図書館）	登別市地域おこし協力隊増田好希氏による講演会（飲食ニーズ実証実験）	R07.05.11	20	
堀内文庫・伊東文庫巡回事業（市内全小学校等）	堀内氏、伊東氏からの寄贈児童書を各校(６校)に１ヶ月程度巡回	R07.06中旬～R08.02下旬	―	
七夕飾り（図書館）	期間中に来館者が作成した短冊を笹に飾りつけ展示する。	R07.07.上旬～R07.08.上旬	期間計 200	
2025秋の読書週間（図書館）	秋の読書週間に合わせて、大人も楽しむおはなし会、図書館クイズ、おすすめ本展示、ワークショップ、講演会等。	R07.10.27～R07.11.09	期間計 2,000	
おはなし会（図書館）	幼児から小学生向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施する。	毎月 第１土曜日	延べ 300	保護者含
絵本の読み聞かせ会（図書館）	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施する。	毎月 第２・４水曜日	延べ 500	保護者含
ゲームの日（図書館）	アナログゲーム（ボードゲーム・カードゲーム）体験会 協力：ゲーム会銀の鈴（倒さないドミノを普及する会）	毎月１回	延べ 100	
伊達市立図書館ファイナルカウントダウン（図書館）	タカラトミー公認ベイブレードＸ大会	毎月１回	延べ 1,000	保護者含
地域文庫配本（各地域文庫5箇所）	図書館遠隔地にその地域と協働で地域文庫を設置。半年に一度250冊の図書を寄託・巡回し、地域住民への読書サービスの向上に努める。（5地域に開設）	各文庫 年２回入替	―	
ブックスタート（保健センター）	読書啓発と子育て支援のため、乳幼児健康栄養相談（１歳児対象）の際に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	隔月１回	対象 120	
ブックスタート・ステップ（図書館）	読書啓発と子育て支援のため、２歳児を対象に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	隔月３回程度	対象 190	
研修生受入事業（図書館）	図書館業務を体験することで図書館への理解を深めてもらうとともに、研修生の勤労観、職業観の育成等に資する。対象は中学生以上の生徒・学生。	随時	―	